

今日のこぼ

「『孤独』とは
ひとりであること。
自分自身であること。
『孤独』からスタート
して初めて、人は
他者とつながって
いけるのでは
ないでしょうか。
私のいう『孤独』の加は、
人とつながる力でも
あるのです。」

山陽堂だより 29

2012年1月睦月



臨時休業の
お知らせ

2月4日(土)
お休みします。
この日は
雑誌の発売は
ありません。
よくお願い
いたします。

「迷いのある人は、自分の中に
ゆきかないものか、住まれる
まで迷うのか。意見の
ちがう相手とも、共感できる
部分で緩やかにつながれ
ばいい。切り捨てるは
いけないんです」

「原発が象徴するあらゆる
犠牲のシステムを、何度も
何度も問い直していきたい。
どんなに非常に残酷な
社会でも、やさやかな希望を、
誰かの柔らかな手色、しっかり
握って生かれば、見えてくるものが
あるはずだから」

—2011.12.16 毎日新聞/刊より—
山陽堂のこぼ所の本屋さん
クシオンハウスのご主人でもある
作家 落合恵子さんのこぼです。



できることをしよう 新報社 14702h

—(まくら)震災後に考えたこと—
糸井重里 (まほ)日刊イトイ新聞

「まず、忘れないことならできる。
少し分け合うことならできると思う。」
「いぶんには、何かできるのたろう」
と迷っていたら、この本を読んでみて
くたさ。震災をバネにして必死で
知恵を絞った人々と(まくら)は生かす
ことができました。一本の帯のこぼり
震災から10ヶ月。

「山陽堂が『できること』ってなんたろう...」
と思いつつ、具体的な行動にうつせません。た。
辰としの2012ねんは、いつもおやうに
土道に『できること』をひたひたつ

近著に、
「『孤独』の力を
抱きしめて」
小学館刊 1400円
に2発売中!

実現していきたい
と思っています。
みなさまのお力
ぜひあかし
くたさ!

石幾田道史氏・大山格氏二人の歴史家が語る

青山の明治・大正・昭和そして江戸時代

『今の青山通り
の元になる
大山街道』

江戸時代の青山は、江戸城を守る最前線。

この界隈は青山百人町^{かりやく}火か、金矢砲隊の町でした。
当時の浮世絵「青山百人町屋灯籠」とみると、道の左右に
同心^{どうしん}(江戸幕府の下級役人)のわらふきの家が並び、道沿いには
なかいやぐさのろへんからちやうちんかぶらさかっています。

町だしては「將軍の御靈をちゃんとまつてまよ。ー!」^{とて}という
星がまたたいているように美しく遠くから見たので「諸国名所
百景」となっています。石幾田さんはぜひ青山通りの風物詩に
「屋灯籠」を復活させたらよいのではなにかと書いていました。

冬は表参道のイルミネーション、夏は青山の屋灯籠。い〜ておねえ。
外苑方面にいくと甲賀忍者もいて、キー通り近くの寺の墓は甲賀忍者
の姓氏^{せいせい}だらけ^{だらけ}そうぞうです。忍 忍 忍

さて、明治になりました。江戸は政治の力で人口を集めた消費土地、
参勤交代もなくなり滞り人口は激減しました。青山原宿は
開発も遅れカウンタウン。広い空き地が残っていたので青山墓地
や代々木練兵場(今の代々木公園国立競技場NHK一帯)が出来ます。

1920年 大正9年に代々木練兵場の半分が明治神宮になり
けやき並木の表参道もこのころ完成。原宿馬車

青山通りまで、明治天皇を奉祀する参道になり
町石のものか、威厳と備えました。こうした地域では
毎架架街をつくらせん。こなか、青山原宿という
地域を小性格がけする大きな要素です。戦後
青山周辺は焼野原。代々木練兵場跡には
米軍の家族向け住宅「ワシントンハウス」が出来ます。

家族で入居するので米軍人たるも羽目をはかしてせん。
テナントやオリエンタルバー、紀伊國屋スーパー
マーケット、多くの外国人客で賑わいました。
1964年に東京オリンピック開催、ワシントンハウスの
あったところには選手村や国立代々木体育館もでき
原宿青山は国際色豊かな町になっていきました。

山陽堂書店
107-0061
港区北青山3-5-22
Tel 03-3401-1309
FAX 03-3401-1358
email
sanyodo@bi.wakwak.com
営業時間 書店
月~金 10:00~19:30
土 11:00~17:00
キョウリ
月~金 11:00~19:00
土 11:00~17:00
休 日 祝日(共通)

前半は磯田氏のお話から

青山に忍者!

後半は大山氏のお話から